

# 後志地本通信

## 東日本大震災 私たちにできることは？

3月11日午後2時46分、

三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の国内観測史上最大の巨大地震が発生し、東日本各地に甚大な被害をもたらしました。強い揺れの直後に襲った大津波によって街全体が壊滅するなど、多数の死傷者や行方不明者を出しています。時間とともにその被害の凄まじさが明らかになり、被災した福島原発では炉心溶融の恐れまで生じています。被災された方々に対し、心からお見舞い申し上げます。

### ボランティアの注意点

○ボランティアは受け入れ先を確認した上で、現地に行きましょう。また、受け入れ先の指揮下に入って活動しましょう。↓受け入れ先のないボランティアは、現地の統制を阻害することがあります。  
○被災地に入るときは、衣食住を自分で準備しましょう。↓被災地は物資が不足気味です。また、現地での配給物資をあてにするなど、もつてのほかです。  
○救援物資の送付は、現地

2011.3.17  
＝第8号＝

自治労北海道  
後志地方本部  
〒044-8588  
倶知安町北1条東2丁目  
後志総合振興局内  
TEL 0136-22-6636  
FAX 0136-21-2105

の情報を見ながら↓報道で、必要な物資・不要な物資を確認しましょう。

### 普段の生活の中で、今、できることをしましょう

◎募金がもつとも手軽で効果的です。↓自治労では、「災害特別カンパ」の取り組みを決定しました。カンパの金額は任意ですが、組合員一人1,000円を目標としています(震災

災の被害が甚大かつ広域であることから今回の目標額となりました)。  
組合員皆さんの取り組みをお願いします。

○電力不足が深刻な状況になっています。↓身近なところから「省エネ」運動に取り組んでいきましょう。

### えさきたかし参議のホームページより

こうやってキーボードを打っている時も、東京では余震が起きています。この広範囲の長期間の余震は、過去経験がありません。今回の地震の特徴は、全国の

殆どの人々がその規模は違っても、揺れや津波警報などでこの地震を共有化できていることです。東北を中心とする甚大な被災地との精神的距離が近いのです。この地震によって日本人の心が近づきつつあるのではないのでしょうか。そうしなければこの国難を日本人は乗り越えられません。皆さん、心一つにしましょう。  
(3月11日の記事より)

### 東日本大震災被災者支援「災害特別カンパ」にご協力を!

私たちは助け合うことを知っています。また、助け合う手段をもっています。冷静に判断する知性と理性をもっています。被災地の外部の人間として、できることをしましょう!

(委員長 河田)

### ちほんのうごき

- ・3月15日(火)  
地本第3回単組・総支部  
代表者会議(倶知安町)
- ・3月17日(木)  
地本第2回組織強化  
拡大委員会(倶知安町)